

商店街活性化事業計画の概要

地 域

鹿児島県鹿児島市

認定日

平成22年6月21日

事業名:「地域密着型見守り・情報発信する街づくり事業」

事業者名: 宇宿商店街振興組合(鹿児島県鹿児島市)

事業実施期間 平成22年7月～平成25年3月

■ 商店街活性化事業の概要

宇宿商店街振興組合が、今後も増加が続くと想定される高齢者層や核家族化が進む家庭の生活の安全と買い物の利便性機能を確保することで、新規居住者も含めた商店街への来店を促進するため、携帯電話による高齢者・子どもの見守り事業等の開発、子育て支援事業、高齢者や子育て家庭向けの見守りマンションの整備等を行う。

■ 商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

アンケート結果から、商店街への来街者は商店街に対して「防犯・育児・環境など安心安全」を求めており、「高齢者交流施設」や「コミュニティ施設」の設置、「高齢者の見守り事業」への強い期待が示された。

実施計画の主な内容

・携帯電話を活用した見守り事業等の開発と商店街情報の発信

商店街が、携帯電話機能活用検討委員会(仮称)を設置し、GPS・万歩計機能等を有する携帯電話を活用した高齢者・子どもの見守り、メール配信機能を活用した商店街情報発信による買物利便性の向上を図る。

・見守り携帯電話の登録促進等事業・ユーザー「えびすサポーターズ」組織化活動の実施

携帯電話の登録対象となる高齢者・子育て世代等地域住民の登録を促進するため、キックオフイベントや昼市、夜市を利用した登録活動・来街者増加のための活動を実施する。また、登録された顧客のネットワーク化を図るために「えびすサポーターズ」を組織し事業を促進する。

・子育て相談等共生・協働型の優しい街づくり事業

子育て世代の不安解消、安心した子育て活動を促進するため、NPOが中心となって、子育て相談、絵本の読み聞かせ等、親子のコミュニケーション促進支援等を実施する。

・見守りマンションの構想策定・整備

高齢者の地域での安全・安心な生活を確保するため、見守りマンションの構想を策定し、整備する。見守りマンションの中には宅老機能を持つ交流スペースや植物工場、商業機能を併設し、高齢者や子育て家庭と地域住民や商店主との交流の場づくりを進めていく。

■ 商店街活性化事業計画の目標

平成24年度までに、見守り携帯電話登録顧客2000人獲得、通行量の10%増(H21年度比(H21年 平日:3,025人、日曜:1,634人))、年間小売販売額の3%増(H19年度比)を目標とする。

【携帯電話を活用した見守り事業】 【商店街情報の発信(携帯)】 【子育て相談室活動風景】

